

## 12. 人権課題の解決のための方策について

### (1) 気になっている中間市の人権課題

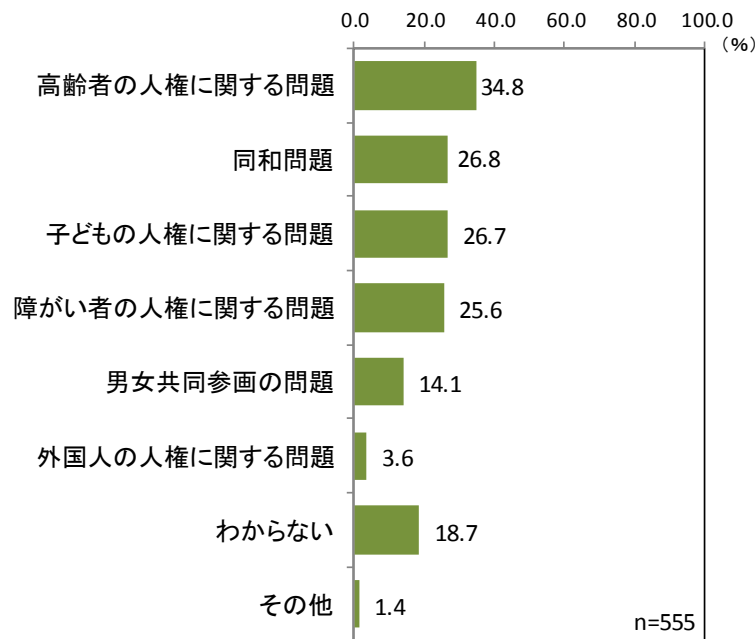
問24

中間市の人権課題の中で、あなたが気になっているものはなんですか。次の中から該当するものに○を2つまでつけてください。(複数回答、2つまでに限定)

- ✓ 「高齢者の人権に関する問題」が34.8%で最も高く、これにほぼ同率で「同和問題」(26.8%)、「子どもの人権に関する問題」(26.7%)、「障がい者の人権に関する問題」(25.6%)が続いている。
- ✓ 性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「同和問題」と「障がい者の人権に関する問題」となっている。「女性」の割合が「男性」より高いのは「子どもの人権に関する問題」となっている。年代別にみると、「29歳以下」と「30～39歳」、「40～49歳」の年代では「子どもの人権に関する問題」の割合が高くなっている。「高齢者の人権に関する問題」の割合が高い年代は「50～59歳」以上の年代で40%前後となっている。

「高齢者の人権に関する問題」が34.8%で最も高く、これにほぼ同率で「同和問題」(26.8%)、「子どもの人権に関する問題」(26.7%)、「障がい者の人権に関する問題」(25.6%)が続いている。

<気になっている中間市の人権課題(全体)>



平成24年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「高齢者の人権に関する問題」(6.3ポイント増)となっている。他の人権課題は大きな変化が認められない。

<気になっている中間市の人権課題（全体及び24年度との比較）>

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
同和問題	149	26.8	28.5
男女共同参画の問題	78	14.1	12.9
子どもの人権に関する問題	148	26.7	26.1
高齢者の人権に関する問題	193	<b>34.8</b>	28.5
障がい者の人権に関する問題	142	25.6	25.6
外国人の人権に関する問題	20	3.6	2.1
わからない	104	18.7	20.7
その他	8	1.4	2.1
合計	842	複数回答で1人当たり平均1.5個を選択	

■ 性別、年代別にみた気になっている中間市の人権課題

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「同和問題」と「障がい者の人権に関する問題」となっている。「女性」の割合が「男性」より高いのは「子どもの人権に関する問題」となっている。

年代別にみると、「29歳以下」と「30～39歳」、「40～49歳」の年代では「子どもの人権に関する問題」の割合が高くなっている。「高齢者の人権に関する問題」の割合が高い年代は「50～59歳」以上の年代で40%前後となっている。

<性別、年代別にみた気になっている中間市の人権課題>

	合計	同和問題	男女共同参画の問題	子どもの人権に関する問題	高齢者の人権に関する問題	障がい者の人権に関する問題	外国人の人権に関する問題	わからない	その他
全体	555	149 26.8%	78 14.1%	148 26.7%	193 34.8%	142 25.6%	20 3.6%	104 18.7%	8 1.4%
■ 性別									
男性	224	67 29.9%	32 14.3%	51 22.8%	81 36.2%	65 29.0%	9 4.0%	43 19.2%	2 0.9%
女性	306	75 24.5%	44 14.4%	92 30.1%	105 34.3%	66 21.6%	11 3.6%	55 18.0%	5 1.6%
無回答	25	7 28.0%	2 8.0%	5 20.0%	7 28.0%	11 44.0%	0 0.0%	6 24.0%	1 4.0%
■ 年代別									
～29歳	54	11 20.4%	14 25.9%	19 35.2%	16 29.6%	12 22.2%	5 9.3%	10 18.5%	2 3.7%
30～39歳	58	16 27.6%	11 19.0%	28 48.3%	13 22.4%	17 29.3%	7 12.1%	7 12.1%	0 0.0%
40～49歳	53	14 26.4%	9 17.0%	18 34.0%	9 17.0%	21 39.6%	1 1.9%	11 20.8%	1 1.9%
50～59歳	74	20 27.0%	7 9.5%	18 24.3%	31 41.9%	18 24.3%	3 4.1%	15 20.3%	0 0.0%
60～69歳	103	33 32.0%	12 11.7%	24 23.3%	40 38.8%	26 25.2%	1 1.0%	15 14.6%	1 1.0%
70～79歳	117	33 28.2%	13 11.1%	22 18.8%	49 41.9%	25 21.4%	2 1.7%	23 19.7%	1 0.9%
80歳以上	74	17 23.0%	10 13.5%	14 18.9%	28 37.8%	14 18.9%	1 1.4%	17 23.0%	2 2.7%
無回答	22	5 22.7%	2 9.1%	5 22.7%	7 31.8%	9 40.9%	0 0.0%	6 27.3%	1 4.5%

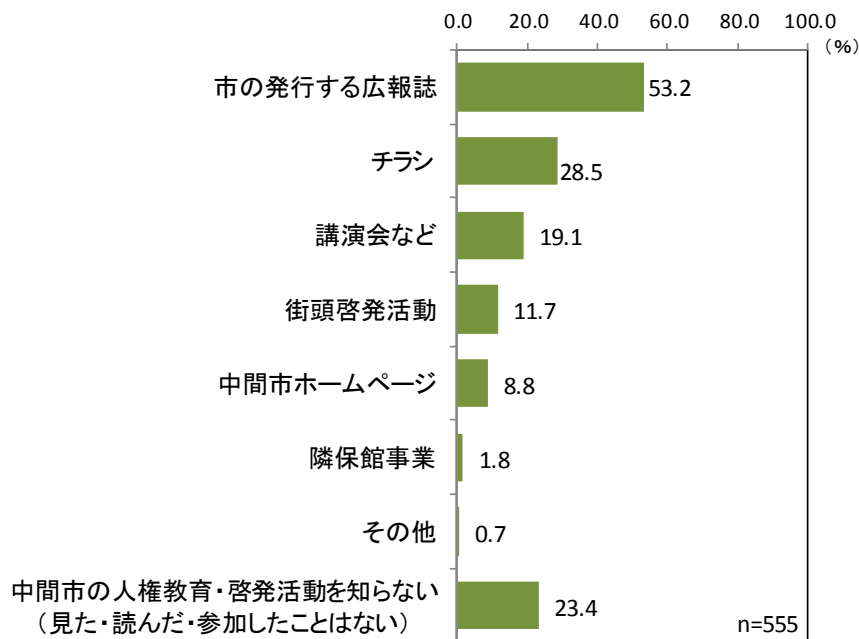
## (2) 見た、読んだ、参加したことのある人権課題の解決策

問 25 中間市では、人権課題の解決のために次のような方法で教育や啓発活動などを行っています。最近これらを見た、読んだ、あるいは参加したことなどはありますか。あてはまる番号に○をいくつでもつけてください。(複数回答)

- ✓ 「市の発行する広報誌（広報なかま、人権センターたより『よかかぜ』）」が 53.2%で最も高く、これに「チラシ（同和問題啓発強調月間や人権週間のチラシなど）」の 28.5%が続いている。
- ✓ 平成 24 年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「中間市ホームページ」（4.8 ポイント増）と「中間市の人権教育・啓発活動を知らない（見た・読んだ・参加したことはない）」（2.7 ポイント増）となっている。
- ✓ 「40～49 歳」から「70～79 歳」の年代では「市の発行する広報誌」が 50%を超え高くなっているが、「30～39 歳」以下の年代では「中間市の人権教育・啓発活動を知らない（見た・読んだ・参加したことはない）」の割合が 30%台で高くなっている。

「市の発行する広報誌（広報なかま、人権センターたより『よかかぜ』）」が 53.2%で最も高く、これに「チラシ（同和問題啓発強調月間や人権週間のチラシなど）」の 28.5%、「講演会など（「中間市人権フェスティバル」や人権センターで開かれている教養文化教室、人権学級の開催など）」の 19.1%が続いている。

<見た、読んだ、参加したことのある人権課題の解決策（全体）>



平成 24 年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「中間市ホームページ」（4.8 ポイント増）と「中間市の人権教育・啓発活動を知らない（見た・読んだ・参加したことはない）」（2.7 ポイント増）となっている。一方、割合が最も減少しているのは「市の発行する広報誌（広報なかま、人権センターたより『よかかぜ』）」（9.2 ポイント減）で、「街頭啓発活動（7 月の同和問題啓発強調月間の街頭啓発活動や 12 月の人権週間など）」、「チラシ（同和問題啓発強調月間や人権週間のチラシなど）」、「隣保館事業」も微減している。

く見た、読んだ、参加したことのある人権課題の解決策（全体及び24年度との比較）

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
講演会など（「中間市人権フェスティバル」や人権センターで開かれている教養文化教室、人権学級の開催など）	106	19.1	19.1
街頭啓発活動（7月の同和問題啓発強調月間の街頭啓発活動や12月の人権週間など）	65	11.7	14.4
チラシ（同和問題啓発強調月間や人権週間のチラシなど）	158	28.5	30.8
市の発行する広報誌（広報なかま、人権センターたより『よかかぜ』）	295	53.2	62.4
中間市ホームページ	49	8.8	4.0
隣保館事業	10	1.8	3.1
その他	4	0.7	0.7
中間市の人権教育・啓発活動を知らない（見た・読んだ・参加したことはない）	130	23.4	20.7
合計	817	複数回答で1人当たり平均1.5個を選択	

## ■ 性別、年代別にみた見た、読んだ、参加したことのある人権課題の解決策

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「チラシ（同和問題啓発強調月間や人権週間のチラシなど）」となっている。

年代別にみると、各年代共通で「市の発行する広報誌（広報なかま、人権センターたより『よかかぜ』）」の割合が最も高くなっており、特に「40～49歳」から「70～79歳」の年代では「市の発行する広報誌」が50%を超え高くなっている。「30～39歳」以下の年代では「中間市の人権教育・啓発活動を知らない（見た・読んだ・参加したことはない）」の割合が30%台で高くなっている。

<性別、年代別にみた見た、読んだ、参加したことがある人権課題の解決策>

	合計	室や講演会など、人権学級の開催など	の街頭啓発活動（7月の同和問題啓発活動など）	チラシ（同和問題啓発強調月間や人権週間の）	市の発行する広報誌（広報なかま、人権センタ―たより『よかかぜ』）	中間市ホームページ	隣保館事業	その他	中間市の人権教育・啓発活動を知らない（見た・読んだ・参加したことはない）
全体	555	106 19.1%	65 11.7%	158 28.5%	295 53.2%	49 8.8%	10 1.8%	4 0.7%	130 23.4%
■性別									
男性	224	39 17.4%	30 13.4%	70 31.3%	118 52.7%	24 10.7%	5 2.2%	1 0.4%	51 22.8%
女性	306	63 20.6%	35 11.4%	80 26.1%	166 54.2%	21 6.9%	4 1.3%	3 1.0%	73 23.9%
無回答	25	4 16.0%	0 0.0%	8 32.0%	11 44.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	6 24.0%
■年代別									
～29歳	54	8 14.8%	5 9.3%	14 25.9%	18 33.3%	4 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	18 33.3%
30～39歳	58	12 20.7%	7 12.1%	17 29.3%	23 39.7%	4 6.9%	1 1.7%	3 5.2%	21 36.2%
40～49歳	53	14 26.4%	8 15.1%	14 26.4%	31 58.5%	6 11.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 18.9%
50～59歳	74	11 14.9%	5 6.8%	14 18.9%	42 56.8%	5 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	19 25.7%
60～69歳	103	22 21.4%	10 9.7%	29 28.2%	70 68.0%	6 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	19 18.4%
70～79歳	117	20 17.1%	23 19.7%	41 35.0%	68 58.1%	16 13.7%	6 5.1%	1 0.9%	24 20.5%
80歳以上	74	15 20.3%	7 9.5%	20 27.0%	32 43.2%	5 6.8%	2 2.7%	0 0.0%	15 20.3%
無回答	22	4 18.2%	0 0.0%	9 40.9%	11 50.0%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	4 18.2%

### (3) 今後の講演会の内容について

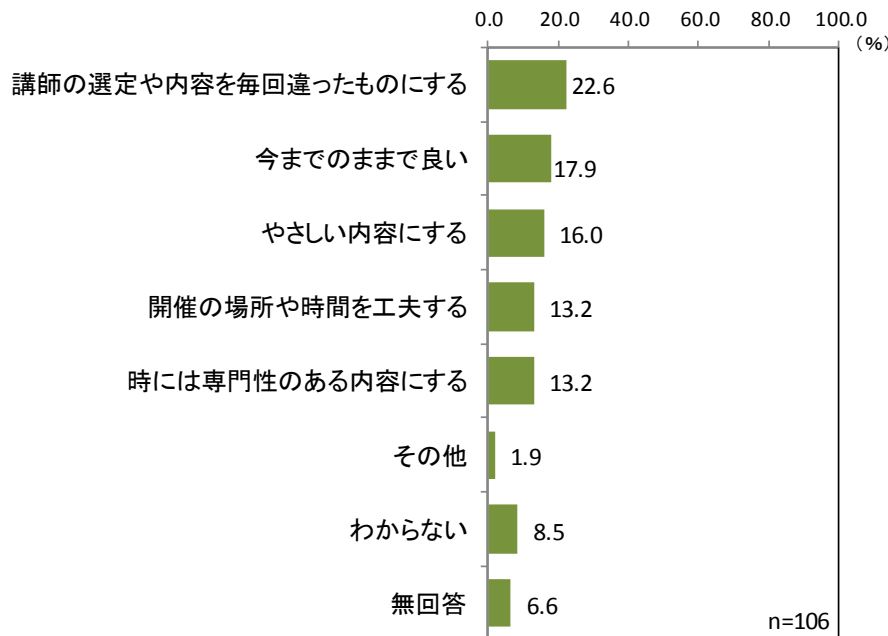
問 25. で「1. 講演会など」について○をつけた方にお尋ねします。今後どのような内容にすればよいと思いますか。次の中から該当するものに○を1つつけてください。(単一回答)

- ✓ 「講師の選定や内容を毎回違ったものにする」が22.6%で最も高く、これに「今のままで良い」の17.9%、「やさしい内容にする」の16.0%が続いている。
- ✓ 性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「やさしい内容にする」、「講師の選定や内容を毎回違ったものにする」となっている。一方、「女性」の割合が「男性」より高いのは「今のままで良い」、「開催の場所や時間を工夫する」、「わからない」となっている。

「講演会など（中間市人権フェスティバルや人権センターで開かれている教養文化教室、人権学級の開催など）」について最近、見た、読んだ、参加したことがあると回答をした人に、今後どのような内容にすればよいかを聞いた。

全体でみると、「講師の選定や内容を毎回違ったものにする」が22.6%で最も高く、これに「今のままで良い」の17.9%、「やさしい内容にする」の16.0%が続いている。

<今後の講演会の内容について（全体）>



	度数	%
今までのままで良い	19	17.9
開催の場所や時間を工夫する	14	13.2
やさしい内容にする	17	16.0
時には専門性のある内容にする	14	13.2
講師の選定や内容を毎回違ったものにする	24	22.6
その他	2	1.9
わからない	9	8.5
無回答	7	6.6
合計	106	100.0

## ■ 性別、年代別にみた今後の講演会の内容について

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「やさしい内容にする」、「講師の選定や内容を毎回違ったものにする」となっている。一方、「女性」の割合が「男性」より高いのは「今のままで良い」、「開催の場所や時間を工夫する」、「わからない」となっている。

年代別は各年代の回答者数が少ないため参考として掲載している。

<性別、年代別にみた今後の講演会の内容について>

	合計	今までのままで良い	開催の場所や時間を工夫する	やさしい内容にする	内容には専門性のある	毎回違ったものにする	講師の選定や内容を	その他	わからない	無回答
全体	106 100.0%	19 17.9%	14 13.2%	17 16.0%	14 13.2%	24 22.6%	2 1.9%	9 8.5%	7 6.6%	
■性別										
男性	39 100.0%	5 12.8%	4 10.3%	9 23.1%	5 12.8%	12 30.8%	0 0.0%	1 2.6%	3 7.7%	
女性	63 100.0%	14 22.2%	10 15.9%	7 11.1%	8 12.7%	10 15.9%	2 3.2%	8 12.7%	4 6.3%	
無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
■年代別										
～29歳	8 100.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	
30～39歳	12 100.0%	3 25.0%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	
40～49歳	14 100.0%	3 21.4%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	
50～59歳	11 100.0%	4 36.4%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	
60～69歳	22 100.0%	4 18.2%	1 4.5%	5 22.7%	5 22.7%	3 13.6%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	
70～79歳	20 100.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	4 20.0%	8 40.0%	0 0.0%	2 10.0%	1 5.0%	
80歳以上	15 100.0%	2 13.3%	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%	5 33.3%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	
無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

#### (4) 講演会などを見た、読んだ、参加しなかった理由

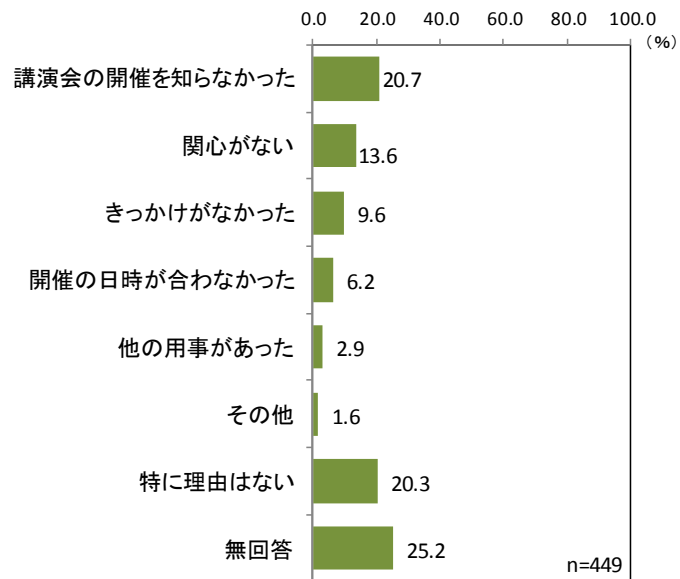
問 27 問 25. で「1. 講演会など」についてに○をつけなかった方にお尋ねします。それはどのような理由からですか。次の中から該当するものに○を1つつけてください。(単一回答)

- ✓ 「講演会の開催を知らなかった」が20.7%で最も高く、これに「特に理由はない」の20.3%、「関心がない」の13.6%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「関心がない」(4.3ポイント増)と「開催の日時が合わなかった」(3.0ポイント増)となっている。
- ✓ 年代別にみると、特に「20歳以下」と「30～39歳」の年代では「講演会の開催を知らなかった」が30%を超え高くなっている。「60～69歳」以上の年代では「特に理由がない」の割合が最も高く20%台となっており、これに「講演会の開催を知らなかった」と「関心がない」が10%台で続いている。

「講演会など(「中間市人権フェスティバル」や人権センターで開かれている教養文化教室、人権学級の開催など)」を選択しなかった人(講演会などを最近、見た、読んだ、参加したことがない人)に、参加しなかった理由を聞いた。

全体でみると、「講演会の開催を知らなかった」が20.7%で最も高く、これに「特に理由はない」の20.3%、「関心がない」の13.6%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「関心がない」(4.3ポイント増)と「開催の日時が合わなかった」(3.0ポイント増)となっている。

＜講演会などを見た、読んだ、参加しなかった理由(全体)＞



＜講演会などを見た、読んだ、参加しなかった理由(全体及び24年度との比較)＞

	30年度		24年度
	度数	%	%
講演会の開催を知らなかった	93	20.7	19.2
他の用事があった	13	2.9	5.8
きっかけがなかった	43	9.6	12.2
開催の日時が合わなかった	28	6.2	3.2
関心がない	61	13.6	9.3
その他	7	1.6	1.7
特に理由はない	91	20.3	26.5
無回答	113	25.2	22.1
合計	449	100.0	100.0



## ■ 性別、年代別にみた講演会などを見た、読んだ、参加しなかった理由

性別による大きな差が認められない。

年代別にみると、「29歳以下」から「50～59歳」までは共通で「講演会の開催を知らなかった」の割合が最も高くなっており、特に「20歳以下」と「30～39歳」の年代では「講演会の開催を知らなかった」が30%を超え高くなっている。「60～69歳」以上の年代では「特に理由がない」の割合が最も高く20%台となっており、これに「講演会の開催を知らなかった」と「関心がない」が10%台で続いている。

＜性別、年代別にみた講演会などを見た、読んだ、参加しなかった理由＞

	合計	講演会 の開催を 知ら なかつた	他の 用事が あつた	き つ か け が な か つ た	か 開 催 の 日 時 が 合 わ な	関 心 が な い	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体	449 100.0%	93 20.7%	13 2.9%	43 9.6%	28 6.2%	61 13.6%	7 1.6%	91 20.3%	113 25.2%
■ 性別									
男性	185 100.0%	37 20.0%	5 2.7%	18 9.7%	12 6.5%	28 15.1%	1 0.5%	36 19.5%	48 25.9%
女性	243 100.0%	52 21.4%	8 3.3%	20 8.2%	14 5.8%	31 12.8%	5 2.1%	53 21.8%	60 24.7%
無回答	21 100.0%	4 19.0%	0 0.0%	5 23.8%	2 9.5%	2 9.5%	1 4.8%	2 9.5%	5 23.8%
■ 年代別									
～29歳	46 100.0%	18 39.1%	1 2.2%	2 4.3%	2 4.3%	5 10.9%	0 0.0%	7 15.2%	11 23.9%
30～39歳	46 100.0%	14 30.4%	1 2.2%	3 6.5%	4 8.7%	8 17.4%	0 0.0%	6 13.0%	10 21.7%
40～49歳	39 100.0%	9 23.1%	1 2.6%	6 15.4%	3 7.7%	4 10.3%	0 0.0%	8 20.5%	8 20.5%
50～59歳	63 100.0%	15 23.8%	3 4.8%	5 7.9%	2 3.2%	6 9.5%	0 0.0%	13 20.6%	19 30.2%
60～69歳	81 100.0%	16 19.8%	2 2.5%	12 14.8%	6 7.4%	14 17.3%	0 0.0%	17 21.0%	14 17.3%
70～79歳	97 100.0%	10 10.3%	4 4.1%	9 9.3%	6 6.2%	14 14.4%	2 2.1%	24 24.7%	28 28.9%
80歳以上	59 100.0%	7 11.9%	1 1.7%	1 1.7%	4 6.8%	8 13.6%	4 6.8%	14 23.7%	20 33.9%
無回答	18 100.0%	4 22.2%	0 0.0%	5 27.8%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%

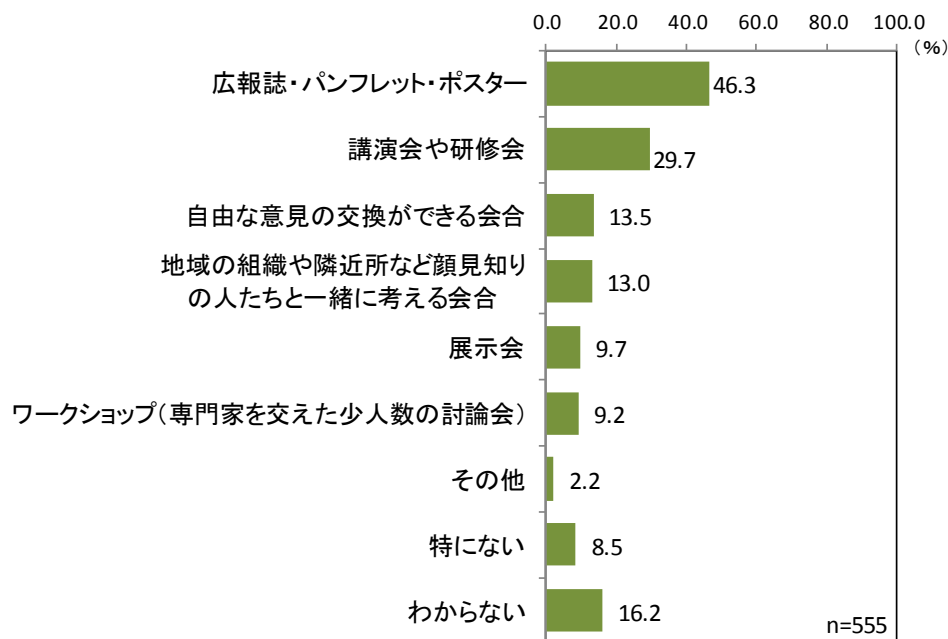
## (5) 効果的な人権啓発をするための啓発広報活動について

問 28 あなたは、人権啓発を推進するために、どのような啓発広報活動などが効果的だと思いますか。次の中から該当するものに○をいくつでもつけてください。  
(複数回答)

- ✓ 「広報誌・パンフレット・ポスター」が46.3%で最も高く、これに「講演会や研修会」の29.7%、「自由な意見の交換ができる会合」の13.5%が続いている。また、今回の調査で新設された質問「地域の組織や隣近所など顔見知りの人たちと一緒に考える会合」の割合が13.0%となっている。
- ✓ 年代別にみると、全年代共通で「広報誌・パンフレット・ポスター」の割合が最も高くなっており、特に「40～49歳」以下の年代では50%台で高くなっている。これに次いで「講演会や研修会」の割合が全年代で高くなっており、特に「50～59歳」以下の年代では30%台となっている。

全体でみると、「広報誌・パンフレット・ポスター」が46.3%で最も高く、これに「講演会や研修会」の29.7%、「自由な意見の交換ができる会合」の13.5%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、割合が減少しているのは「自由な意見の交換ができる会合」(6.5ポイント減)となっているが、今回の調査で新設された質問「地域の組織や隣近所など顔見知りの人たちと一緒に考える会合」の割合が13.0%となっている。

<効果的な人権啓発をするための啓発広報活動について(全体)>



＜効果的な人権啓発をするための啓発広報活動について（全体及び24年度との比較）＞

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
講演会や研修会	165	29.7	33.4
展示会	54	9.7	8.9
広報誌・パンフレット・ポスター	257	46.3	44.5
ワークショップ(専門家を交えた少人数の討論会)	51	9.2	9.9
自由な意見の交換ができる会合	75	13.5	<b>20.0</b>
地域の組織や隣近所など顔見知りの人たちと一緒に考える会合	72	13.0	-
その他	12	2.2	1.6
特にない	47	8.5	5.6
わからない	90	<b>16.2</b>	10.8
合計	823	複数回答で1人当たり平均1.5個を選択	

■ 性別、年代別にみた効果的な人権啓発をするための啓発広報活動について

性別による大きな差が認められない。

年代別にみると、全年代共通で「広報誌・パンフレット・ポスター」の割合が最も高くなっており、特に「40～49歳」以下の年代では50%台で高くなっている。これに次いで「講演会や研修会」の割合が全年代で高くなっており、特に「50～59歳」以下の年代では30%台となっている。

＜性別、年代別にみた効果的な人権啓発をするための啓発広報活動について＞

	合計	講演会や研修会	展示会	広報誌・パンフレット・ポスター	ワークショップ(専門家を交えた少人数の討論会)	自由な意見の交換ができる会合	顔見知りの組織や隣近所と一緒に考える会合	地域の組織や隣近所など	その他	特にない	わからない
全体	555	165 29.7%	54 9.7%	257 46.3%	51 9.2%	75 13.5%	72 13.0%	12 2.2%	47 8.5%	90 16.2%	
■ 性別											
男性	224	67 29.9%	18 8.0%	99 44.2%	25 11.2%	33 14.7%	33 14.7%	6 2.7%	21 9.4%	33 14.7%	
女性	306	90 29.4%	32 10.5%	147 48.0%	22 7.2%	39 12.7%	37 12.1%	6 2.0%	25 8.2%	54 17.6%	
無回答	25	8 32.0%	4 16.0%	11 44.0%	4 16.0%	3 12.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%	3 12.0%	
■ 年代別											
～29歳	54	18 33.3%	4 7.4%	27 50.0%	5 9.3%	8 14.8%	10 18.5%	3 5.6%	5 9.3%	7 13.0%	
30～39歳	58	20 34.5%	9 15.5%	31 53.4%	7 12.1%	8 13.8%	8 13.8%	1 1.7%	3 5.2%	8 13.8%	
40～49歳	53	19 35.8%	6 11.3%	29 54.7%	8 15.1%	10 18.9%	9 17.0%	2 3.8%	0 0.0%	6 11.3%	
50～59歳	74	25 33.8%	7 9.5%	31 41.9%	10 13.5%	13 17.6%	6 8.1%	2 2.7%	4 5.4%	13 17.6%	
60～69歳	103	30 29.1%	15 14.6%	51 49.5%	7 6.8%	15 14.6%	12 11.7%	2 1.9%	11 10.7%	17 16.5%	
70～79歳	117	30 25.6%	7 6.0%	49 41.9%	6 5.1%	12 10.3%	15 12.8%	1 0.9%	13 11.1%	24 20.5%	
80歳以上	74	17 23.0%	3 4.1%	30 40.5%	4 5.4%	7 9.5%	10 13.5%	1 1.4%	9 12.2%	12 16.2%	
無回答	22	6 27.3%	3 13.6%	9 40.9%	4 18.2%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	2 9.1%	3 13.6%	

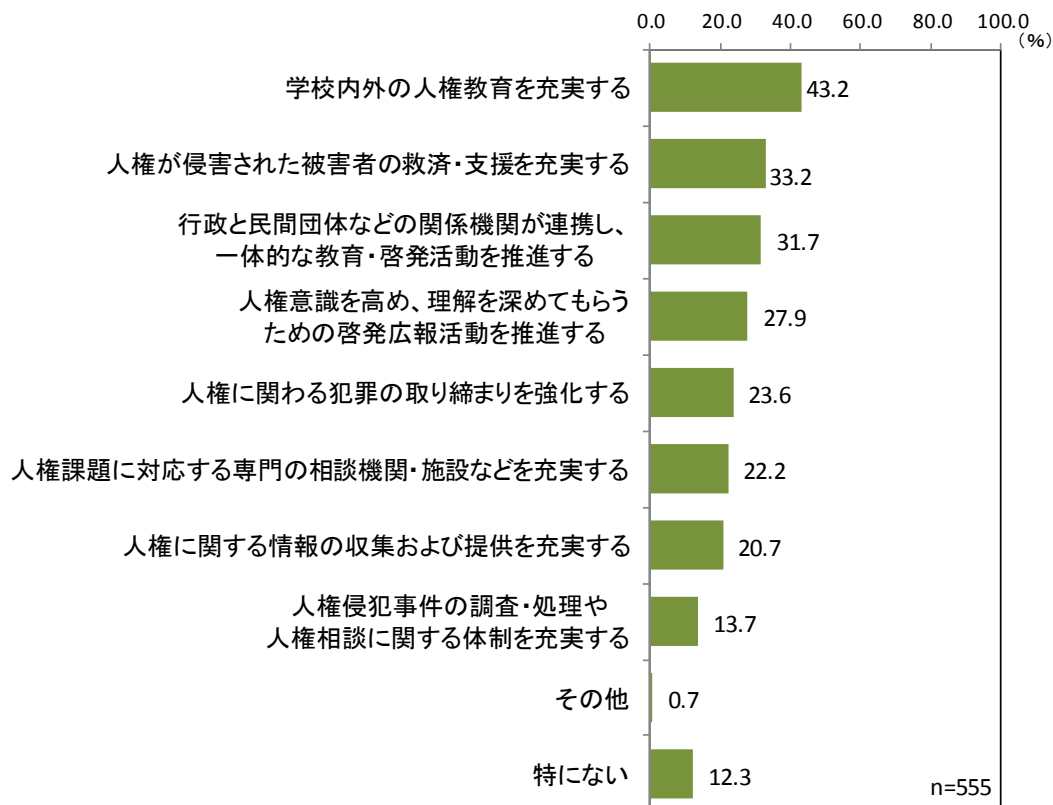
## (6) 今後、人権課題の解決に向けて力を入れるべきだと思うこと

問 29 あなたは、今後、人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から該当するものに○をいくつでもつけてください。(複数回答)

- ✓ 全体で見ると、「学校内外の人権教育を充実する」が 43.2%で最も高く、これに「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」の 33.2%が続いている。
- ✓ 平成 24 年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(4.5 ポイント増)、「行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する」(4.4 ポイント増)、「人権課題に対応する専門の相談機関・施設などを充実する」(3.6 ポイント増)となっている。
- ✓ 年代別にみると、「50～59 歳」以下の年代では、「学校内外の人権教育を充実する」、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」、「行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する」などの割合が高くなっている。「60～69 歳」以上の年代では「学校内外の人権教育を充実する」と「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」に並んで「人権意識を高め、理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」の割合が上位となっている。

全体で見ると、「学校内外の人権教育を充実する」が 43.2%で最も高く、これに「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」の 33.2%、「行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する」の 31.7%が続いている。

<今後、人権課題の解決に向けて力を入れるべきだと思うこと(全体)>



平成 24 年度の調査結果と比較すると、割合が増加しているのは「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(4.5 ポイント増)、「行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する」(4.4 ポイント増)、「人権課題に対応する専門の相談機関・施設などを充実する」(3.6 ポイント増)となっている。一方、割合が減少しているのは「人権意識を高め、理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」(5.7 ポイント減)となっている。

＜今後、人権課題の解決に向けて力を入れるべきだと思うこと  
(全体及び 24 年度との比較)＞

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
人権意識を高め、理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する	155	27.9	<b>33.6</b>
学校内外の人権教育を充実する	240	43.2	44.2
人権課題に対応する専門の相談機関・施設などを充実する	123	<b>22.2</b>	18.6
人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	184	<b>33.2</b>	28.7
人権に関わる犯罪の取り締まりを強化する	131	23.6	25.2
人権に関する情報の収集および提供を充実する	115	20.7	19.3
人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する体制を充実する	76	13.7	11.5
行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する	176	<b>31.7</b>	27.3
その他	4	0.7	0.7
特になし	68	12.3	7.5
合計	1,272	複数回答で1人当たり平均2.3個を選択	

## ■ 性別、年代別にみた今後、人権課題の解決に向けて力を入れるべきだと思うこと

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「学校内外の人権教育を充実する」、「人権意識を高め、理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」となっている。一方、「女性」の割合が「男性」より高いのは「人権に関する情報の収集および提供を充実する」となっている。

年代別にみると、「50～59 歳」以下の年代では、「人権意識を高め、理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」の割合よりも、「学校内外の人権教育を充実する」、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」、「行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する」などの割合が高くなっている。「60～69 歳」以上の年代では「学校内外の人権教育を充実する」と「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」に並んで「人権意識を高め、理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」の割合が上位となっている。このほか「60～69 歳」以上の年代では「特になし」の割合が 10%台と比較的高くなっている。

<性別、年代別にみた今後、人権課題の解決に向けて力を入れるべきだと思うこと>

	合計	人権意識を高め、啓発活動を推進する	学校内外の人権教育を充実する	人権課題に対応する専門の相談機関・施設などを充実する	人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	人権に関わる犯罪の取り締まりを強化する	人権に関する情報の収集および提供を充実する	人権犯事件の調査・処理や人権相談に関する体制を充実する	行政と民間団体などの関係機関が連携し、一体的な教育・啓発活動を推進する	その他	特になし
全体	555	155 27.9%	240 43.2%	123 22.2%	184 33.2%	131 23.6%	115 20.7%	76 13.7%	176 31.7%	4 0.7%	68 12.3%
■性別											
男性	224	75 33.5%	104 46.4%	45 20.1%	79 35.3%	54 24.1%	35 15.6%	28 12.5%	68 30.4%	1 0.4%	25 11.2%
女性	306	75 24.5%	122 39.9%	76 24.8%	99 32.4%	75 24.5%	73 23.9%	44 14.4%	100 32.7%	2 0.7%	40 13.1%
無回答	25	5 20.0%	14 56.0%	2 8.0%	6 24.0%	2 8.0%	7 28.0%	4 16.0%	8 32.0%	1 4.0%	3 12.0%
■年代別											
～29歳	54	14 25.9%	30 55.6%	18 33.3%	22 40.7%	16 29.6%	15 27.8%	12 22.2%	19 35.2%	1 1.9%	4 7.4%
30～39歳	58	15 25.9%	39 67.2%	18 31.0%	20 34.5%	19 32.8%	18 31.0%	12 20.7%	25 43.1%	0 0.0%	4 6.9%
40～49歳	53	17 32.1%	20 37.7%	16 30.2%	24 45.3%	14 26.4%	21 39.6%	10 18.9%	28 52.8%	0 0.0%	2 3.8%
50～59歳	74	21 28.4%	32 43.2%	19 25.7%	24 32.4%	25 33.8%	15 20.3%	10 13.5%	23 31.1%	0 0.0%	5 6.8%
60～69歳	103	27 26.2%	43 41.7%	26 25.2%	39 37.9%	24 23.3%	17 16.5%	11 10.7%	25 24.3%	1 1.0%	13 12.6%
70～79歳	117	32 27.4%	39 33.3%	16 13.7%	37 31.6%	18 15.4%	14 12.0%	10 8.5%	31 26.5%	1 0.9%	23 19.7%
80歳以上	74	26 35.1%	24 32.4%	8 10.8%	13 17.6%	12 16.2%	9 12.2%	7 9.5%	20 27.0%	0 0.0%	14 18.9%
無回答	22	3 13.6%	13 59.1%	2 9.1%	5 22.7%	3 13.6%	6 27.3%	4 18.2%	5 22.7%	1 4.5%	3 13.6%